

JBA OFFICIAL BASKETBALL RULES 2020 EXERCISES RULES VOL.1

ルールエクササイズ vol.1
(2020年5月15日配信)

【B級・A級・S級審判ライセンス、3級・2級・1級・T級審判インストラクターライセンスの皆さま】

新型コロナウイルスの影響により、本年度のライセンス更新に係るルールテストは従来の形では実施いたしません。
ルールテストの代わりに本ルールエクササイズを配信いたしますので、ぜひ競技規則や問題集を閉じてトライしてみてください。



QUESTION 01

チームBにアウトオブバウンズのバイオレーションがあり、チームAにスローインのボールが与えられた。審判からスローインのボールを受け取ったA1は、ボールを受け取ってから2秒後にボールをフロアに置き、その後A2がそのボールを取り、すぐにコート内のA3に向かってパスをした。審判はA1にスローインのボールを渡してからA2がボールを手放すまでに4秒しかかかっていなかったため、スローインは正しく行われたと判断してプレーを続行させた。(○/×)

QUESTION 02

ディフェンスのプレーヤーは、ボールをコントロールしていない相手プレーヤーをガードするときは、その相手プレーヤーの速さと距離を十分に考慮して位置を占めなければならない。動いている相手プレーヤーが止まったり方向を変えたりして触れ合いを避けることができないほど、急にまた近くに位置を占めてはならない。(○/×)

QUESTION 03

すでに5個のファウルを宣せられたプレーヤーによるファウルは、プレーをする資格を失ったプレーヤーのファウルとしてヘッドコーチに宣せられ、スコアシートのヘッドコーチ欄には「C」と記録する。(○/×)

QUESTION 04

第4クォーターでA1がフィールドゴールのショットを成功させ、ボールがバスケットを完全に通り抜けたとき、ゲームクロックは残り2:03を表示していた。スローインのためにB1がボールに触れるまでの間にゲームクロックの表示が2:00となったので、タイマーはゲームクロックを止めた。(○/×)

QUESTION 05

第4クォーター残り1:47で、チームAにスローインが与えられ、審判はイリーガルバウンダリーラインクロッシングシグナルを使ってからA1にスローインのボールを与えた。スローインの時にB1が境界線を越えて手を出し、スローインを妨げようとしたので、審判はB1のバイオレーションを宣し、A1にスローインのやり直しをさせた。(○/×)

今回のルールエクササイズの解答と解説は、【ルールエクササイズ vol.2】(2020年6月15日配信予定)とともに配信いたします。

JBA公式ホームページでは、競技規則、JBAプレーコーリング・ガイドライン、ルールテスト問題集などをご確認いただけます。

<http://www.japanbasketball.jp/referee/>